

胸腔ドレナージの治療を受けられる患者さんへ









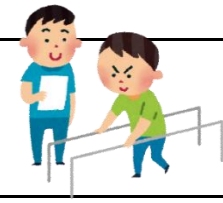







患者ID:

氏名:

主治医:

担当医:

受持看護師:

	入院日・胸腔ドレナージ挿入日	胸腔ドレナージ挿入2日目	胸腔ドレナージ挿入3日から7日目	胸腔ドレナージ挿入8日から11日目	胸腔ドレナージ挿入12日目
目標	処置について理解ができる 処置の必要性や処置後の安静について理解でき 体温、血圧、脈拍、呼吸状態などが安定している 	体温、血圧、脈拍、呼吸状態などが安定している 胸腔ドレナージ挿入部に感染徴候がない 痛みのコントロールができ、睡眠がとることができる 呼吸状態が安定している 			体温、血圧、脈拍、呼吸状態などが安定している 胸腔ドレナージ挿入部に感染徴候がない
治療処置	処置前、処置中、処置後に 体温・血圧・脈拍・呼吸・SpO2（酸素飽和度）などを計測します 処置中、全身状態を観察するため、 心電図モニター・SpO2モニターを装着します 		（ ）時と（ ）時に 体温・血圧・脈拍・呼吸・SpO2（酸素飽和度）などを計測します 胸腔ドレナージ挿入部は、3日毎に消毒を行います		
内服薬		 通常通り、内服薬を飲んで下さい 胸腔ドレナージ挿入部の痛みがあるときは、 遠慮無く看護師までお知らせ下さい			
検査	胸腔ドレナージ挿入時に、超音波で穿刺部位を確認します 胸腔ドレナージ後にレントゲン撮影を行います				
安静度	ベッドに座った状態で、テーブルにもたれるような 体勢（胸に枕をかかえる）をとります 処置中は、動かないでください		特に制限はありません 動ける範囲で動きましょう 移動時、胸腔ドレナージを引っ張らないように注意しましょう		
食事		特に制限はありません 			
清潔			状態に応じて、 清拭や下半身のシャワー浴を行います 		
排泄	 トイレを済ませておいてください		胸腔ドレナージ挿入後の初回はトレイまで、付き添い歩行をします 排泄時は、ナースコールを押して下さい 必要に応じて尿器を設置します		
説明	これまでに局所麻酔薬でアレルギー症状がでた方は、 事前に申し出下さい 処置中に息苦しさや胸の痛みや、気分の悪さなど 症状がありましたら、看護師までお知らせください 医師から検査について説明があります 同意書を記入して看護師に渡してください 		息苦しさや胸の痛みなどの症状がありましたら、 遠慮無く看護師までお知らせください		